

公立保育園の存続を求める

桜木 善生 (社民党)



質問 保育園の民間化に関して、9月議会では29年度開設予定の本町一丁目の認可保育所を断念すること、しんかわ保育園の閉園を1年繰り下げることの市長報告があったが、①待機児は解消できるのか、②しんかわ保育園が閉園となれば代替の保育園が必要と考えるが、3月に出される整備計画にはどう網羅されるのか。

答弁 ①実施計画の中で解消できる見込みである。②施設整備に取り組み中で3月の見直しに向け鋭意努めていく。
質問 西第10自転車等駐車場に関して、補償金をめぐって地権者から内容証明書が来ていると聞いている。保育園の開設を断念したことで話は終わったものと考えていたが、内容証明書とは何か。
副市長 駐輪場が不足しているのになぜ解体するのか、文書で回答してほしいとする内容のものである。

市民主導の産業振興の取り組みについて

島崎 孝 (自民クラブ)



質問 地域産業推進協議会(地産協)の報告書が公開されたが、第4期目の取り組みの特色や成果は。

答弁 市特産品マップのリニューアルにより情報の更新と内容の改善、観光マップの作成、多言語対応の観光看板の設置等を行った。
また、地産協は、地域密着型の産業振興策に取り組み、第4期には、幾つかについて、市民主導の自立した事業実施へと移行した。

質問 市民主導による自立した事業に移行したとのことだが、具体的には。
答弁 前期の地産協で実施した「街バル東久留米」事業は、平成27年より東久留米市商工会青年部を中心に取り組み、今年度も好評のうちに実施された。
また「七福神めぐり」も平成26年から市民主体の七福神めぐり実行委員会により実施されている。

市民のための絆づくりを!

島崎 清一 (自民クラブ)



質問 市民みんなのまつりが盛況のうちを終了したが、①昨年度の実績を踏まえ改善した点は、②参加人数を今後さらに増やす取り組みについて伺う。

答弁 ①東久留米音頭の練習回数を増やし市内各所で4回開催した。農協、商工会、青年会議所で構成する連絡協議会に、絆づくり実行委員会も加わり新たな提案がなされ、行政ブースの充実が図られた。②連絡協議会と調整を図りながら、市が主体性を持って取り組み、さらに多くの市民参加を得られるよう研究していく。

質問 下里小学校への通学区域である児童が、区域外の小学校に通学している事例があるが、統一的な決まりは。
答弁 小中学校の通学区域については、規則により定められており、市内転居等の理由による特別な場合を除き、指定学区の学校に就学していただくことになっている。

東くるめわくわく元気プラス

野島 武夫 (自民クラブ)



質問 29年度の予算編成方針について、今後の市政運営はどのようにあるべきと考えているか。

市長 行財政改革を継続しながら地域の活性化を図り、まちの魅力を高めるための取り組みを推進し、健全な財政運営と持続的成長の好循環を図る方向性で進めていきたい。
質問 「東くるめわくわく元気Plus」事業について、①事業の目的は、②協力店舗は。

答弁 ①健康無関心層を含めた市民の皆さまが、健康への関心を高め、健康づくりの取り組みを始めるきっかけとして、市内店舗で使えるカードの発行と結びつけた。市内産業と健康づくりを連携させ、魅力ある事業展開を目指している。②本事業の目的や趣旨を説明し、平成28年11月8日現在130店舗の参加を得ている。店舗でのサービスは、利用する際に確認いただきたい。

市政のここが聞きたい



東久留米市地域資源 PRキャラクター

湧水の妖精 るるめちゃん

第4回定例会の一般質問は、12月7日~12日の4日間で行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第4回定例会の本会議の録画映像は、市HPのインターネット映像配信よりご覧いただけます。会議録は、2月下旬より、市HPまたは、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー(本庁舎2階)でご覧いただけます。

常に改善の意識をもつことが大切

三浦 猛 (公明党)



質問 災害時の一時避難場所等で使用できる「防災協力農地」は、現在、17件の所有者のご協力により、約11万3千㎡が確保されている。市民が知るべき情報として、防災マップに載せるべきではないか。また、JAとの協定書の締結は平成11年。防災意識の向上や農地の役割への期待からも、内容の見直しをする時ではないか。

答弁 来年度、防災マップに載せるよう検討していく。協定書については、現状に即した協定内容の具体的な見直しに向け検討していく。
質問 (地下設置の)市の震度計については、これまで何度も疑問を投げ掛け、根拠となる調査をすべきと訴えているが、市の考えを改めて伺う。
答弁 他市の計測震度と比較することとした。今後は、震度計の信頼度調査ができるよう検討する。別途機器などで調査が実施できればと考えている。

乳がん・子宮がんから命を守るために

阿部 利恵子 (公明党)



質問 女性特有のがん検診について、①クーポン券や受診勧奨による効果は、②さらなる受診率向上のため、同日受診できる「子宮頸がん・乳がんセット検診」を提案するが、検討は。

答弁 ①子宮頸がん・乳がんいずれの受診率も20年度に比較して約2倍強となっており、クーポン券事業等の効果と考える。②今後の課題としたい。
質問 中央図書館の運営について、「33年度より指定管理者」という方向性が出されたが、25年度から地区館に導入した指定管理者の評価を伺う。

答弁 第二次図書館のあり方に関する検討委員会報告書では、開館時間の拡大、新規事業の実施、館内環境の整備、貸し出し実績の伸び、高い利用者満足度、ボランティアとの協働事業の継続を挙げ、成果は上がっており、図書館協議会による図書館事業評価においても、サービスの向上を評価されている。

しんかわ保育園廃止は決定ではない!

原 紀子 (日本共産党)



質問 しんかわ保育園の今後について、すでに廃園が決定したかのような説明を受けたと市民から話を伺った。なぜこのようなことが起こったのか、直ちに是正をしていただきたい。

答弁 入所の申請に際し、入所のしおりに記載されたしんかわ保育園の内容については、丁寧な説明を行っている。指摘の部分については、改めて、受け付け等の説明に関し、担当課において周知を行いたい。
質問 子ども家庭支援センターの相談員について、相談件数が多く、長期相談を要するケースも多い。嘱託職員である専門職が時間外労働をせざるを得ない状況にあり、一日も早い処遇改善が必要と考えるが、見解は。
答弁 相談員のシフトや適正な配置に努めるとともに、時間外勤務に関する規定の見直しに向けて、現在、庁内各部署と協議、検討している。

性的マイノリティの人権保障を

篠原 重信 (日本共産党)



質問 性的マイノリティ(LGBT)の人権保障について、①情報収集を行う必要な措置を取っていただきたいが、いかがか、②来年度から策定する男女平等推進プランに相談場所の設置を盛り込むことを求めるが、見解は。

副市長 ①庁内でも議論していきたい。
答弁 ②市民会議での議論を踏まえ、検討したい。
質問 子どもの貧困対策に関し、①ひとり親世帯の実態調査の早期実施を求めるが、見解は、②学習支援事業の取り組み状況は。

答弁 ①個人情報保護や実態把握の制度などの課題があり、関係部署で検討を重ねる必要があることから、現時点での実施は難しい。②制度を所管する福祉総務課を中心に検討を重ねており、現在、市で行っている学習支援について整理をした上で、実施方法の検討を深めているところである。

複合する課題へ横断的体制を

梶井 琢太 (市民進歩会)



質問 空き家対策で、①進捗と今後の取り組みは、②協議会の構成・手法は、③計画策定の期限は、④保育や高齢者施設等の活用には市内連携体制は。

答弁 ①調査による空き家判定を年度内に完了、29年度後半に所有者へ意向調査を実施。②29年度後半以降に各専門家等による対策協議会を設置・開催。③協議会で策定期限を検討。④必要に応じ、福祉・子育て関連部署に庁内連絡会へ参加をお願いしたい。
質問 放課後の居場所について、①空き教室を活用した児童保育の待機児童解消は、②放課後子供教室の拡充は、③児童保育と放課後子供教室を総合した計画策定と協議が必要か。
答弁 ①28年度は2月から学校の特別教室を1カ所、29年度は5カ所借りる予定。②来年度は第六小・第七小・本村小で予定。③子ども家庭部と教育部で連携し、今後整理する。

中央図書館指定管理反対PCは367件97%

白石 玲子 (市民自治フォーラム)



質問 今後の市立図書館の運営方針(案)について、①教育委員会として決定したのか、②パブリックコメントをどう生かし、反映するのか、③指定管理者導入で現場を失うことは図書館行政の後退を招くが見解は、④試算より大幅に高くなる可能性があるが、教育長 ①協議会で方向性が定まり、報告という形で教育委員会に提出。

答弁 ②意見等を踏まえて方針を決定。
質問 市役所に必要な職員を育成し配置。
④現行の仕様に準じる見積額。
質問 しんかわ保育園の閉園について、①入所のしおりに市が一方的に決めた内容を記載することは問題があるかと考えるが、②地域の基幹的保育園として認証保育所等の活動を支える等の役割を果たしてきたが、市の見解は。
答弁 ①最新の状況を案内することが趣旨である。②幼稚園等で行っている事業等も活用してカバーしていきたい。